

平成26年度AI・HALL自主企画

伊丹想流私塾第19期生公演

『希望という名のわたしを訪ねて』

監修／北村想 総合演出／高橋恵(虚空旅団)

演出／横山拓也(iaku)、高橋恵(虚空旅団)、樋口ミコ(Plant M)、
土橋淳志(A級MissingLink)、山本正典(コトリ会議)

作／伊丹想流私塾第19期生

阿水セロン、井本幸子、彼方憲二、上坂京子、コタカトモ子、高間響、
田中浩之、とくらゆきこ、中空よおい、西川さやか、宮崎健太

出演／あゆみ(遊気舎)、イシダトウショウ、石原正一(石原正一ショー)、井田武志(sunday)、
伊藤えりこ(Aripe)、牛嶋千佳(コトリ会議)、澤田誠、杉原公輔(匿名劇壇)、竹田桃子、
得田晃子、水柊(少年王者館)、宮川サキ(sunday)、山田まさゆき(突刺金魚)、
山本禎顕(スクエア) [50音順]

スタッフ／舞台監督：今井康平(CQ) 照明：狭間友恵(エスエフシー) 音響：今里愛(エスエフシー)
宣伝美術：下東英夫(エアース)

北村想塾長のもと、筆力を磨いてきた新進劇作家たちが、
関西で活躍する俳優・演出家に協力を仰ぎ、卒業公演に挑みます。
今回のタイトルは、「希望」という名のわたしを訪ねて。
今回のタイトルは「希望」です。塾生の11作品を一挙上演します。
テーマは「ベッドがひとつ」あるだけなんです。
ところで、舞台には「ベッドがひとつ」あるだけなんです。
とこころで、舞台には「ベッドがひとつ」あるだけなんです。
劇作家11名は、この二つの要素を、どのように紡いでいくのか。
とこころで、舞台には「ベッドがひとつ」あるだけなんです。

★プレミアムステージ★

塾長・北村想が、同じお題で書き下ろした新作短編を、
各回終了後に特別上演。こちらもお見逃しなく！
『夕月』 作・演出／北村想 出演／船戸香里

日時／平成27年2月28日(土)19:00
3月1日(日)14:00

※受付開始・入場整理券発行は開演40分前。開場は開演20分前。
※各回終了後、プレミアムステージとして北村想作品を上演。

料金／前売1,200円 当日1,500円(日時指定・全席自由)

会場／アイホール(伊丹市立演劇ホール)[JR伊丹駅前]
〒664-0846 兵庫県伊丹市伊丹2-4-1



チケット取扱・お問合せ／

アイホール(火曜休館)

TEL:072-782-2000 メール:info@aihall.com

URL:http://www.aihall.com twitter:@ai_hall

※チケットは事務所窓口でも販売しております。

企画製作／アイホール

主催／公益財団法人伊丹市文化振興財団・伊丹市

平成26年度文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業



夜の頬いのあたたかみに 身をゆだねてはいけない そんなものは マヤカシだ 老
いていくことを 慈しんではいけない そんなものは 誰かのたくらみだ 幸せな夜
は すぐに手のひらをかえす 次の日 あざむかれていたことに気づいて 目覚める
のだ 老いを怒れ 叛旗をたてよ。

暗い時間なんかはありはしない 色あせた時間があるだけだ スズメバチに刺された
ような痛みを与える そんな時間があるだけだ。

何故 よかれと思ってしたことが ことごとく失敗という結果にしかならないのか
それは きみの状況ではナイ 世界の本質なのだ。

だからこそ たとえそれが 一握りの土くれであっても 良いものは しっかりつか
んで離してはいけない たとえそれが 野原の一本の木であっても 信ずるものは
しっかりつかんで離してはいけない たとえそれが 地平の果てにあっても きみが
成すべきことは しっかりつかんで離してはいけない たとえ私が きみから去った
アトでも 自らの内にある希望をしっかりつかんで離してはいけない。「死ぬにはとっ
ておきの日」がやって来るまでは。

(『INTERSTELLAR』『MANY WINTERS』より、sampling、脚色)

北村想

AI・HALL